



劇団 まちプロ一座 公演

# 紫の夜が明けるとき

## When the purple night dawns

出演：井上 みどり、くぼてら りょうた、俣 好雄、小石 哲也、杉本 わかこん  
橋本 あーさ、朴 理英、福坂 厚子、森山 友絵、山脇 朝子、吉田 勝

演出・脚本：劇団 まちプロ一座  
音響：黒田 治  
照明：小野 あずみ(アトリエ・アム)  
舞台監督：西川 健一(劇団あしたの会)  
音響オペレーター：横田 明子(劇団 まちプロ一座)



日時：  
2022年 1月29日(土)  
14:00 開演 (13:30 開場 15:10 終演)

会場：  
草津市立草津アミカホール  
滋賀県草津市草津3丁目13-30  
Tel:077-561-2345

入場無料

自由席・予約優先

座席に配慮の必要な方を優先してご案内させていただく場合があります。

**ご予約**は右記の予約フォームから →  
または、電話・FAXで、①お名前、②連絡先(電話・FAX番号)、③人数、④必要な配慮の内容を、下記までお知らせください。



予約フォーム

終演後、アフタートークを行います。  
出演：佐久間 新(ジャワ舞踊家)  
佐藤 拓道(たんぼぼの家アートセンター-HANA)  
井上 みどり、小石 哲也(劇団まちプロ一座)

<鑑賞支援・アクセシビリティ>



手話通訳、要約字幕、ヒアリンググループ席、補助犬同伴可  
※演劇公演の手話通訳では、すべての会話を通訳できない場合があります。  
※ヒアリンググループのご利用には、対応した補聴器が必要です。  
※車椅子鑑賞スペースには限りがあります。座席へのご移動をお願いする場合があります。

会場内および隣接する さわやか保健センターの多機能トイレがご使用いただけます。

お問い合わせ (公財)びわ湖芸術文化財団 地域創造部 ※8:30~17:15 火曜日、12/28~1/4 休館  
ご予約 ☎520-0806 大津市打出浜 15-1 Tel:077-523-7146 Fax:077-523-7147

主催：公益財団法人びわ湖芸術文化財団、「文化芸術×共生社会プロジェクト」実行委員会

共催：草津市教育委員会、公益財団法人草津市コミュニティ事業団

協力：社会福祉法人共生シンフォニー

令和3年度 文化庁  
文化芸術創造拠点形成事業



# 劇団 まちプロ一座 公演 紫の夜が明けるとき

劇団まちプロ一座は障害のあるなしに関わらず、俳優部、制作部ともに、演目をゼロから一緒に作り上げていく劇団です。

劇団が所属する社会福祉法人共生シンフォニー まちかどプロジェクトには様々な障害当事者が来ていますが、脳梗塞や脳卒中で高次脳機能障害(※)となった当事者の方も来ています。

劇団立ち上げから、数々の演目をさせていただいているのですが、高次脳機能障害当事者を描いた作品はありませんでした。劇団ミーティングでの、「そういえば、演ったことないなあ。」という小石座長の一言から、去年は『秋の風は二度吹く』を上演しました。この作品では、脳梗塞で倒れた主人公が、障害を含め、周囲の人の支えを得ながら、自分自身を受け入れていく物語を描きました。

そして、今年の劇団ミーティングでは「障害を受け入れるまでの話は結構あるんやろうけど、その後はないんちゃうかな？私ら、受け入れる、受け入れないってよりも、生きてることは続いているんやし…」という言葉から、『紫の夜が明けるとき』は誕生しました。

障害者とそのパートナーの物語ですが、「連れ合い」、「介護する人・される人」の関係を行ったり、来たりします。その境界線は曖昧です。

主演俳優の「私、覚えられへん！」、「このセリフ、意味わからん！」、「なんで、この場面で私、怒らなあかんの！」、「次のセリフが出てこへん！」を聞きながら、シナリオ、演出を練っていきました。

果たして、この物語はどこに行き、どこに帰るのでしょうか？

その旅路を一緒に歩いていただければと思います。

劇団 まちプロ一座 一同



劇団 まちプロ一座

障害というハンデがあると街ですれちがっても、なんとなく避けられがち。ましてや想いなど、なかなか伝わらず。

障害があっても、なくても、舞台上に立てば、ひとりの役者。台詞に気持ちを込めて、舞台上に立てば、いろいろな人たちに出逢える…。それぞれの人生や心の内をありのままに伝えられる…。

いつか、どこかのまち、どこかの舞台上でいろいろなあなたに出逢いたい。

劇団立ち上げから、18年、そんな気持ちで演劇を続けています。

## ※高次脳機能障害とは？（国立障害者リハビリテーションセンターHP から引用）

ケガや病気により、脳に損傷を負うと、次のような症状が出る場合があります。

記憶障害：物の置き場所を忘れる。新しい出来事を覚えられない。同じことを繰り返し、質問する。

注意障害：ぼんやりして、ミスが多い。ふたつのことを同時に行くと混乱する。作業を長く続けられない。

遂行機能障害：自分で計画を立てて、ものごとを実行することができない。人に指示してもらわないと何もできない。約束の時間に間に合わない。

社会的行動障害：興奮する、暴力を振るう。思い通りにならないと、大声を出す。自己中心的になる。

これらの症状により、日常生活または社会生活に制約がある状態が高次脳機能障害です。

…とありますが、主演俳優は「なった人によって、出方は違ふんとちゃう？」と言っております。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下についてご理解、ご協力をお願いします。

- 発熱・体調不良の場合は、来館をお控えください。
- 来館時はマスクを着用してください。
- 館内に手指消毒用アルコールを設置していますので、入館時に必ずご利用ください。
- 客席は、一定の間隔を開けてご着席いただくことがあります。
- 出演者への面会、プレゼントはお控えください。
- 万が一、公演後に感染症を発症された方がおられた場合は、公的機関の求めに限り、入場者の名簿を提出します。
- 感染症予防対策をはじめ、やむを得ない事情により、出演者、当日の対応に変更が生じる可能性がありますこと予めご了承ください。

文化芸術×共生社会フェスティバル 地域の劇場・音楽堂等連携事業  
わたしの表現！フェスティバル

いんえいらいさん  
陰影来SUNDANS

佐久間 新+鈴木 潤+たんぼぼの家アートセンターHANA  
身体表現ワークショップ

with 劇団 まちプロ一座

2022年2月26日(土)

草津市立市民総合交流センター キラリエ草津

草津市大路2丁目1番 35号

問合せ：(公財)びわ湖芸術文化財団 地域創造部 Tel:077-523-7146

## 文化芸術×共生社会プロジェクト

滋賀県では、令和2年3月に「滋賀県障害者文化芸術活動推進計画」をつくりました。障害のある人やない人、年齢のちがう人、話す言葉がちがう人など、さまざまな人が支えあうことで、だれもが自分らしく活躍できる滋賀県をつくるため、障害者やお年寄り、小さな子どものいる人、外国につながる人たちなど、だれでも参加でき、楽しめる、文化芸術の活動を広めていきたいと考えています。「文化芸術×共生社会プロジェクト」では、県内の文化団体、福祉団体、NPO法人、市や町などの団体が協力し、「文化芸術による共生社会づくり」のモデルとなるような事業に取り組んでいます。